

第1グループ南

第1グループ南 ガバナー補佐 大谷 龍之 (川越小江戸RC)



2026年-2027年度、第1グループ南ガバナー補佐を拝命いたしました小江戸ロータリークラブの大谷です。私たちは2570地区の多くのクラブ、そして私の所属クラブも、会員数が限られた中で活動しています。小規模クラブの現場では、例会運営、奉仕活動、役職の担い手など、一人ひとりの負担が大きくなりがちで、「継続すること」そのものに難しさを感じる場面も少なくありません。出席を維持すること、役割を引き受け続けることに、正直なところ重さを感じることもあるのが現実です。

しかし、その一方で、小規模クラブだからこそ実感できる価値も確かに存在します。人数が少ないからこそ、会員一人ひとりの存在がはっきりと見え、例会での一言や小さな奉仕が、地域の中で確実に誰かに届いていることを実感できます。顔の見える関係の中で行う奉仕は、規模は小さくとも、深く、長く、地域に根づいていく力を持っています。

ロータリーの価値は、活動の大きさや華やかさではなく、「続けること」によって生まれる信頼と、その積み重ねがもたらす変化にあると私は考えます。変化は一時的な出来事ですが、真の成果は継続によって地域に定着し、次の世代へと受け継がれていくものです。奉仕活動も会員増強も、その瞬間の結果だけで終わらせず、未来へつなげる形にしてこそ意味を持ちます。

3-years Rolling Goalsの最終年度を迎える今、私たちに求められているのは、無理に背伸びをすることではなく、それぞれのクラブの実情に合った歩みを大切にすることだと思えます。小規模であることを弱みと捉えるのではなく、「少ないからこそできる奉仕」「少ないからこそ生まれる結束」を強みに変えていく。その姿勢が、結果としてクラブの活力となり、次の年度へと確実につながっていくはずです。

ガバナー補佐として、現場の声に寄り添いながら、誇りを持って続けられるロータリーの形を皆様と共に考え、支えていきたいと思えます。

小さな一歩の積み重ねが、やがて地域に残る確かなインパクトになることを信じて。

「活動計画」

- 1) 今年度からIM（都市連合会）が無くなるため、それに代わるものを会長幹事会で話し合う。
- 2) 会員増強（維持）に務める。
- 3) 担当クラブの例会、各種会合、その他の行事に積極的に出席する。